

部	本	江	伊	松	天	南	西
第一
第二
第三
第四
第五
第六
第七
第八
第九
第十

石十五情第一五號

報

一月二十三日 一五三

一、四二 由成監視哨ノ報告ニ依リバ、
 ヨリ、沖繩本島西南方ニ當リ五回ニ互リ十數發、
 砲聲ヲ聞キタリト、(又マ軍通報)
 注意ヲ要ス

(石速情)

砂邊監視哨服務報告

昭和 年 月 日 番 哨長陸軍

對	服	時		步
		分	刻	
對	空	對	海	0900
				1000
				1100
				1200
				1300
				1400
				1500
				1600
				1700
				1800
對	中	所	見	1900
				2000
				2100
				2200
				2300
				2400
				0100
				0200
				0300
				0400
對	報	雜	報	0500
				0600
				0700
				0800

步哨名
一 二 三 四 五 六
頭哨 巡察者

每日 報

一月二十三日 玉城國民學校

兵器彈藥格納ニ關スル上ノ注意並ニ西望事項ヲ普及徹底ノ爲
左記計畫ニ基キ兵器委員ヲシテ各隊兵器彈藥ノ格納狀況ヲ視察セ
シムルニ付各隊ハ兵器係將校及下士官ヲ立會セシメラレ度
尚時間其他細部ニ關シテハ兵器委員ヲシテ指示セシム

日	割	視	察	場	所	
二十五日		江戶隊	外山隊	須川隊(一部)	各格納場所	
二十六日		天倉隊	須川隊	松島隊	水崎隊(一部)	各格納場所
二十七日		松田隊	橋本隊	水崎隊(一部)	各格納場所	
二十八日		伊藤隊	水崎隊	須川隊(一部)	各格納場所	

狀況ニ依リ變更スルコトアルベシ

一月二十四日 晴 水曜 於 五城國民學校

隨地講義
 一 大隊の前日引續に築城作業を實施す

情報
 二 敵機動部隊の行動に關するに別紙石丸五城の如く

作戰命令
 三 大隊の狀態の變化に依り諸作業を中止す(一)別紙石丸五城の如く

日々命令
 四 進級試験の別紙石丸五城の如く

任團長
 任團長 藤田正男

石丸五城の如く
 任團長 藤田正男

大原部隊の如く
 任團長 藤田正男

別紙石丸五城の如く
 任團長 藤田正男

會報
 五 別紙石丸五城の如く

慰靈祭
 六 於て國官の如く

火災
 七 之が消火の如く

日		時		分		秒	
0800							
0900							
1000							
1100							
1200							
1300							
1400							
1500							
1600							
1700							
1800							
1900							
2000							
2100							
2200							
2300							
2400							
0100							
0200							
0300							
0400							
0500							
0600							
0700							
0800							

<p>一月二十四日 晴 水曜 於五城國民學校 隨地構築 一 大隊本部員訓練ヲ築城作業ヲ實施ス</p>	<p>情報 二 敵隊動部隊ノ行動ニ関スルハ別紙石五情ヲ大號ノ如シ 三 大隊ノ狀勢ノ変化ニ依リ諸作業ヲ中止スハ別紙石五情 四 進級勳章勲章ノ別紙石五情ノ如ク命下達ス</p> <p>任 陸軍曹長 陸軍曹長 陸軍曹長</p>	<p>命令 三 陸軍曹長ノ命 陸軍曹長ノ命 陸軍曹長ノ命 陸軍曹長ノ命</p> <p>陸軍曹長 陸軍曹長 陸軍曹長</p>	<p>會報 五 別紙石九大會第ニノ號下達ス</p>	<p>對靈祭 六 一五ニヨリ敵艦炸撃ノ功ヲ報ズルニ對シテ靈祭ヲ行フ 一五ニヨリ敵艦炸撃ノ功ヲ報ズルニ對シテ靈祭ヲ行フ 一五ニヨリ敵艦炸撃ノ功ヲ報ズルニ對シテ靈祭ヲ行フ 一五ニヨリ敵艦炸撃ノ功ヲ報ズルニ對シテ靈祭ヲ行フ 一五ニヨリ敵艦炸撃ノ功ヲ報ズルニ對シテ靈祭ヲ行フ</p>
--	---	---	---------------------------	---

<table border="1"> <tr><td>陸</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>海</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>軍</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>部</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	陸				海				軍				部				陸				海				軍				部			
陸																																
海																																
軍																																
部																																
<table border="1"> <tr><td>陸</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>海</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>軍</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>部</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	陸				海				軍				部				陸	海	軍	部	陸	海	軍	部	陸	海	軍	部	陸	海	軍	部
陸																																
海																																
軍																																
部																																
陸	海	軍	部	陸	海	軍	部	陸	海	軍	部	陸	海	軍	部	陸																
0000	0100	0200	0300	0400	0500	0600	0700	0800	0900	1000	1100	1200	1300	1400	1500	1600	1700															

石十五情第一六號

情報

一月二十四十四時三十分
石身三五九六部隊

敵機動部隊行動ニ鑑ミ持ニ明ニ十五日再々空襲
ヲ受ケルヲ算大ナリ
石十五情第一三號ヲ以テ通報セル敵機動部隊ハ二時三
十分ニ台湾東方海面ニ在リテ三時以後電波管制ヲ
實施シアリ
各隊ハ嚴ニ注意ヲ要ス
(石通報三號)

敵機動部隊	石十五情第一三號	以テ通報セル	敵機動部隊	ハ二時三十分	ニ在リテ	三時以後	電波管制ヲ	實施シアリ	各隊ハ嚴ニ	注意ヲ要ス
石十五情第一六號	情報	一月二十四	十四時三十分	石身三五九六	部隊	敵機動部隊	行動ニ鑑ミ	持ニ明ニ	十五日再々	空襲
ヲ受ケルヲ	算大ナリ	石十五情第一	三號ヲ以テ	通報セル	敵機動部隊	ハ二時三十分	ニ在リテ	三時以後	電波管制ヲ	實施シアリ
各隊ハ嚴ニ	注意ヲ要ス	(石通報三號)								

石千五隊命第廿六號

獨立步兵第十五大隊命令

一月二十四日 嘉部

- 一 大隊ハ狀勢ノ變化ニ依リ現諸作業ヲ中止シ築城
資材ノ整理ヲ實施セントス
- 二 各隊ハ明二十五日ヨリ作業ヲ由止シ築城資材ノ
整理ヲ實施スベシ
- 三 細部ニ關シテハ別ニ指示スルモ特ニ防諜ニ注意
スベシ

下達法
配布先

要旨口達後印刷交付
各由隊IP元外小隊(2044参考)

石九六日命第二二號

石第三五九六部隊日々命令

一月二十四日
玉城國民學校

一 第四中隊附 陸軍軍曹
任陸軍曹長

細川 勲
(二月二十日附)

二 大隊本部附 陸軍曹長
石第一八二部隊附ヲ命ス

外崎正男
(二月十九日附)

三 右者大隊本部勤務ヲ命ス
部隊洒保ニ於テ服務スベシ

柴谷 孝

四 陸軍上等兵

杉本 榮

右者兵器資材輸送ノ爲本二十四日ヨリ二泊二日豫定ヲ以テ
平安山後發隊ニ出張ヲ命ス



會報

一月十四日 玉城國民學校

- 一、首里ハ高等司令部等多數設置セラレアリ隨テ高級將校多キヲ以テ同地出張時ハ特ニ軍紀風紀上ノ非違ヲ戒メ敬禮動作嚴正ヲ期セラレタシ
- 二、最近嘯ト依レバ石部隊が來テヨリ武部隊ニ比シ烟ヲ荒サレル率多シト 嚴ニ注意セラレ度シ
- 三、六四旅司令部ニ集合教育中ノ二十三大隊縫裝工修業兵逃亡ス各部隊ニ於テ心當アラハ通報アリタシ
- 尚係ル事故ノ原員ハ何處ニアルカト言フ事ヲ幹部ハ檢討セガルベカラズ 又逃亡シタル兵ハ結果ハ如何ニナルモナリヤ等眞ニ内情ヲ知ラザル爲ニ行ハルゴト多シ 特ニ精神教育ニ留意サレタシ
- 四、發煙彈ヲ一般彈藥ト共ニ格納スルハ不可ナリ 現在ノ發煙彈ハ古キモノニシテ自然發火ノ恐レアリ
- 五、一月十日師團會報ニアル如ク(石第三五九六部隊某准尉ノ報告)巡察將校ノ報告記載事項ハ極メテ簡單ニシテ西々ヲ得ズ不適當ナリ